

今の世の中、本気で夢について語ったり「本当の人生とは！」なんて言ったら鼻で笑われたりどうせお前には無理だと言われたりします。このような発言をする人を「ドリームキラー」と呼びます。夢を殺すと書いてドリームキラーです。

彼らが得意なことではできる理由を探すのではなくできない理由ばかりを探し出すことです。どこをどうすれば失敗をするのか、それを追求する達人です。完璧な人間なんてどこにもいないのにドリームキラーたちはその欠点ばかりを見つけ出すのです。そのドリームキラーはすでにあなたの隣にいます。つまり「あなた」とすでに近い関係の人たちや仲がいい人ほど、ドリームキラーになる可能性が高くなります。

今、あなたがいる環境はあなたにとって居心地のいい空間です。そのコンフォートゾーンは友人関係にも当てはまります。類は友を呼ぶという言葉があるようによく似た考え方や価値観の近い人同士が集まります。それはお互いにとってコンフォートゾーンだからです。お互いの居心地がいいから友達であったり恋人として一緒にいるのです。あなたにとってコンフォートゾーンであればそれは友人にとってもコンフォートゾーンだということです。ですから、あなたがゴールを設定しコンフォートゾーンの外側の世界に飛び出そうとすれば、それは相手にとってコンフォートゾーンを乱す敵だと見なされます。友人が現状を維持するためにあなたをpushしつけようとしてします。今まではお互いがコンフォートゾーンだったのにあなたがその居心地のいい空間で居心地の悪くなるようなことを言うようになった、おかしくなってしまったと友人はそう判断します。あなたが急に変わってしまったのでそれに対応できないのです。ですから、元のあなたに引き戻そうとします。その状態がドリームキラーになってしまった状態です。

あなたが現状から飛び立とうとする時あなたが成長する時、ドリームキラーは必ずあなたの目の前に現れます。ドリームキラーの影響が強くて夢を諦めてしまう人もいるでしょう。しかしドリームキラーが増えれば増えるほど自分が成長している証拠だと考えて自信にしてください。蝶で言えば幼虫から「サナギ」になった状態です。皮を突き破り綺麗な羽を広げ飛び立つ準備をしているのです。そんなドリームキラーがたった1つだけ生み出せるものがあります。それは「後悔」という言葉です。あの時やっぱりやっていればよかったという後悔です。「やっていれば自分の人生は違っていた」と後悔させるのです。こういったドリームキラーの言うことは全て無視して大丈夫です。その代わりに、あなたの夢を後押ししてくれる人を探してください。不安だと思いますが必ず現れます。あなたの理解者が必ず現れます。

そして気付かれた方もいると思いますがもしあなたにお子様がいる場合あなたが一番のドリームキラーになる可能性があります。もしかするとすでにドリームキラーになっているかもしれません。将来的にドリームキラーになるかもしれません。お子様の将来を心配するあまり可能性を否定したり抑圧しないように注意してください。

Q1：あなたの夢を否定する人を何と呼んでいますか？

A1：（ ）

Q2：あなたは、子供や周りの友人のドリームキラーになっていませんか？

A2：（ ）